

小沢氏「今選挙なら50人が戻ってこれるかどうか」
...若手議員と会食

民主党の小沢一郎元代表は16日夜、東京・赤坂のレストランで同党所属の衆院当選1回の若手議員5人と会食し、「年が開ければ、翌年（平成25年）が任期満了で選挙の空気が強まる。みんな、地元で張り付いてどぶ板でがんばれ」と語った。

小沢氏は解散、総選挙が今すぐ行われた場合について「（民主党は）50人が戻ってこれるかどうかだ」とも分析、早期の解散は考えにくいとの見方を示した。

産経ニュース <http://sankei.jp.msn.com/politics/news/111116/stt11111623050005-n1.htm>

> 「年が開ければ、翌年（平成25年）が任期満了で選挙の空気が強まる」

任期満了まで居座るつもりが満々のようですね。解散・総選挙を求める国民世論など、何処吹く風とされているのでしょうか。自分たちが野党の時代は口を開けば解散・総選挙と騒いでいたのに、本当にふざけた男です。

> 「（民主党は）50人が戻ってこれるかどうかだ」

それだけ現在の民主党政権が国民の考えとは乖離していることをお認めにはなっているようです。任期期間という制度がある以上、それにしがみついて、いかに国民に批判されようとも現在の民主党政権を続けることが国民生活や国益よりも優先すると考えているのでしょうか。

> 「みんな、地元で張り付いてどぶ板でがんばれ」と語った

結局、これなんですよ。地元で張り付いて頭を下げていれば、有権者なんて騙せるとでも思っているのでしょうか。いい加減に中身を語って欲しいと思う人もいるはずなのに、その事に関しては何も語ろうとはしませんね。

ところで、今回この刑事被告人・小沢一郎を取り上げた理由は、この発言だけではありません。これまで私は小沢を擁護するブロガーにも手厳しい批判を加えて来ました。中でも政治プログラミングに登録している植草一秀氏と天木直人氏の二人ですが、この度、天木氏のブログで小沢一郎支持をやめていた旨の記事を目にしました。



全文ご紹介させていただきます。

<http://www.amakiblog.com/archives/2011/11/16/11月15夜の小沢・輿石会談のその後の展開ですべてがわかる>

きょう11月16日の一部の新聞が一段の小さな記事で次のように報じていた。

小沢のTPP反対は本気ではない。小沢は野田に対米従属のTPP政策を改めさせるつもりはなかったと言う事になる。

輿石幹事長が15日夜、都内の日本料理店で小沢一郎元民主党代表と約2時間会談した。TPPへの交渉参加表明したことなどを受け政権運営について協議したものと見られる。

この記事は極めて大きな意味を持つ記事だ。はたして野田民主党政権のTPP交渉参加についての対応が、この会談以降変化を見せるのか。

そのことに国民は注目しなければならない。
その結果によって輿石や小沢の正体がわかる。
小沢と輿石の関係の正体がわかる。

小沢一郎は発売中のサンデー毎日11月27日号で鳥越俊太郎と対談してTPP反対論をぶっている。

天下分け目のTPP論議が政治の場で戦わされた時には沈黙していたクセに、週刊誌で、しかも鳥越俊太郎などという似非ジャーナリストごとときと対談し、さらにいえば野田・オバ

マ会談が終わった後に発行された週刊誌上でTPP反対論をぶつ小沢に私は失望を禁じ得ない。

メディアの小沢たたきと小沢裁判の不透明さについて断固として小沢を支持する私だが、小沢の政治的力量と覚悟についてはとっくに小沢を私は見限っている。

その一方の輿石はもっとひどい。繰り返して書いてきたように、輿石は民主党幹事長として権力をふるいながら、政策についてはまったく語らない、語れない。

国対に終始して野田政権をあやつる典型的なふるい政治家だ。TPPについても、その背景に米国の対日圧力があるかなどまったくおかまいなしに賛成一辺倒終始した。政権を維持したいだけの政治家だ。

こんな輿石と小沢が、仲がいいという。

輿石が野田政権の幹事長になった事を小沢は喜んだという。

輿石は小沢を今でも尊敬し、小沢の意向を傾聴するという。

本当だろうか。

もし15日の小沢・輿石会談以降、野田政権のTPP政策に変更が見られなかったらすべてはウソになる。

もし小沢が輿石にそう注文をつけたとしたら輿石はそれを聞きいれなかったと言う事になる。輿石は小沢よりも野田政権の側に付いたことになる。輿石・小沢の「刎頸の仲」はウソになる。

もし輿石が野田首相にTPPを見直せといったにもかかわらず野田首相がTPP政策を改めなければ、輿石は張子の虎であったということだ。野田首相は外務官僚と一緒にあって対米従属を最優先する首相であるということだ……

以上

この全ての記事に私は同意するものでは勿論ないが、天木氏が次のように断言しているのには改めて驚くと同時に敬意を表したい。

> 小沢の政治的力量と覚悟についてはとっくに小沢を私は見限っている

普通まともな評論家やそれなりの識者であれば当然でしょう。もう、小沢は終わった人物なのです。それをいつまでも持ち上げているブロガーが何人もおりますが、本当に何を考えているのか不思議でなりません。

天木氏が指摘するまでもなく、輿石東という民主党幹事長も政策については何も語れない。要するに、このような人物というのは選挙のことしか頭にない古い政治家の典型なのでしょう。このような政治家に支配されている日本の政治を変えていかななくてはならないのは当然です。

このような人達って何の為に政治家になっているのでしょうか？ 選挙をするために政治家をやっているのが小沢一郎でしょうか、お金さえばら撒けば当選出来ると思ってきたからこそ、ゼネコンなどから違法な資金を平気で受け取れるのです。

自民党は利権政治だとか、世襲議員などと批判する人がおりますが、その一番悪い自民党体質を守り続けているのが小沢一郎という政治家であるという考えはなぜないのか不思議でなりません。小沢や輿石こそ旧来のもう永遠に引っ込んでいて欲しい政治家でしょう。

> 「（民主党は）50人が戻ってこれるかどうかだ」

もう一度取り上げますが、この上の発言って、自分を民主党の代表にしなかったからという怨み節なのか？ それとも解散はしたくないという本音がただ出てしまったのか。いずれにしても小沢は戻っても新人議員は討ち死にしかしないでしょう。

行動するジャーナリストが
現下の祖国日本に
渾身の愛と力を込めて筆を揮う！

政治プログラミング

【政治部門】4位
(2011年10月16日時点)